

一年で最も盛り上がる米国のクリスマス商戦

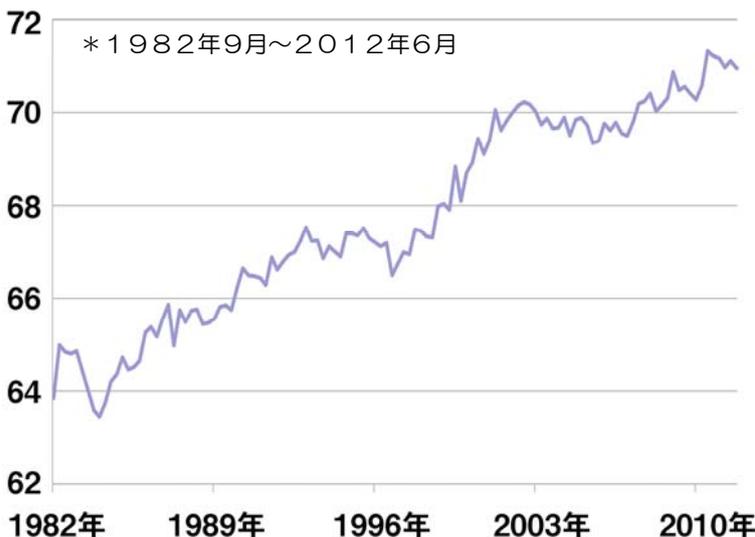
読得
ヨミトク

米国では11月第4木曜日の感謝祭が終わると、いよいよクリスマス商戦に突入です。有名なロックフェラーセンターのクリスマスツリーも、今年は11月28日に点灯します。

米国の風習として、クリスマスには家族のみならず親せきや、友人にもプレゼントを贈るため、例年この時期の街は買い物客で賑わいます。感謝祭翌日の金曜日からはデパートや小売店が一斉にセールを開始し、ショッピングモールによっては早朝から営業を始めるところまであるほどです。セールは年々加熱しており、今年は、小売り最大手のウォルマートを始め数社が感謝祭当日の午後8時からセールを開始することも伝えられています。小売店はこの時期に黒字になることから、セールが始まる金曜日は通称ブラック・フライデーとも呼ばれ、1年で最も多い売上が期待されます。

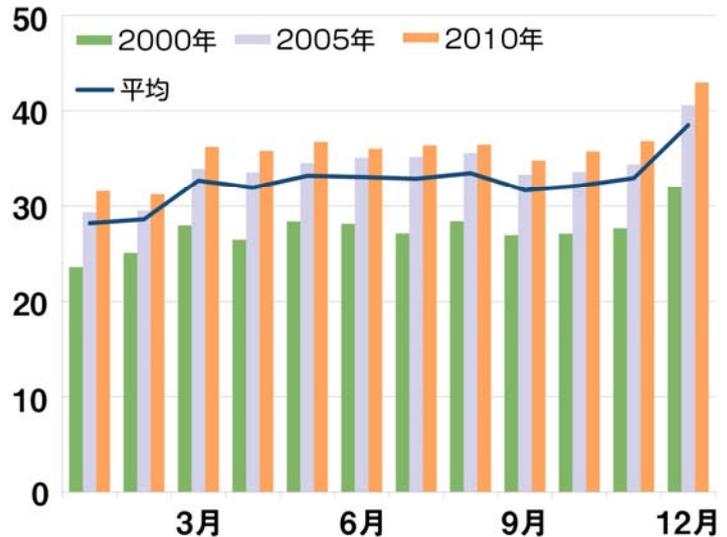
米国ではGDPに占める個人消費の比率が高いため、クリスマス商戦は景気を占う上で非常に重要と言われます。11月6日に行われた選挙では、現職のオバマ大統領が再選されました。中低所得者層への優遇策などが期待されており、今後の米国における個人消費の動向に注目です。

(単位：%) GDPに占める個人消費の割合の推移



(出所) Fact Set

(単位：兆米ドル) 米国 月別小売売上高推移



(出所) 米商務省 季節調整前

本資料は、情報提供を目的としてゴールドマン・サックス・アセット・マネジメント株式会社(以下「弊社」といいます。)が作成した資料であり、特定の金融商品の推奨(有価証券の取得の勧誘)を目的とするものではありません。本資料に記載された過去のデータは将来の結果を保証するものではありません。本資料は、信頼できるとされる資料に基づいて作成されていますが、弊社がその正確性・完全性を保証するものではありません。本資料に記載された市場の見通し等は、本資料作成時点での弊社の見解であり、将来の動向や結果を保証するものではありません。また、将来予告なしに変更する場合があります。個別企業あるいは個別銘柄についての言及は、あくまで例示をもって理解を深めていただくためのものであり、当該個別銘柄の売買、ポートフォリオの構築、投資戦略の採用等を推奨あるいは勧誘するものではありません。本資料の一部または全部を、弊社の書面による事前承諾なく(1)複写、写真複写、あるいはその他いかなる手段において複製すること、あるいは(2)再配布することを禁じます。<審査番号:86076.OTHER.MED.OTU>

© 2012 Goldman Sachs. All rights reserved.



Asset Management